

古城小だより

旭市立古城小学校
平成30年8月21日
NO. 8



豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成

長い夏休みも残り10日余りとなりました。今年の夏は一言で「猛暑」でした。熱中症の心配は今後も続くと思われます。命を守るための行動が必要です。家庭では、児童の水分補給に必要な飲み物の準備を引き続きお願いします。学校では、急遽、業務用の大型扇風機を購入して、各クラスに配置しました。残暑に耐えながらの2学期のスタートとなりそうです。

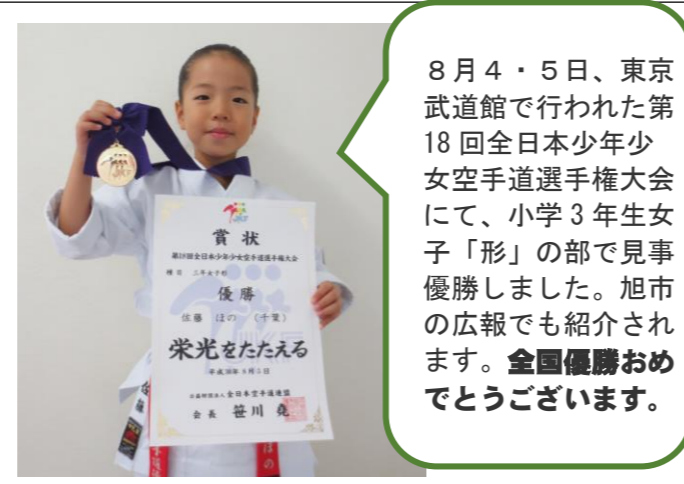
残りの夏休みには9月からの学校生活を考えて「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした規則正しい生活を心がけましょう。



学期末・夏休みにもたくさんの活躍がありました。



水泳指導（着衣泳）



8月4・5日、東京武道館で行われた第18回全日本少年少女空手道選手権大会にて、小学3年生女子「形」の部で見事優勝しました。旭市の広報でも紹介されます。全国優勝おめでとうございます。

全国優勝 3年 佐藤ほのさん



旭市子ども議会

7月26日旭市子ども議会が開かれました。古城小からは、6年 戸村紀仁君（質問者）が、古城小西側の道路の安全に向けて質問しました。傍聴者として越川心優君も参加しました。市長さん・議長さんをはじめ、各課の課長さん方との真剣な意見交換が行われました。



学力向上のために、学校と家庭が協力を！

古城小学校では、学力向上のための本校独自の取組として、「国語検定」「算数検定」を実施しています。今年は、7月、9月、12月、1月、3月の年5回、実施します。昨年までは、年4回の実施でしたが、今年より、新たに9月（1学期の復習）を実施することとしました。

検定の問題は、漢字ドリルから50問・計算ドリルから20問出題されます。ですから、日常の宿題や家庭学習でドリル学習をしっかりと行うことによって検定に「合格」することができます。また、検定は1回目で合格できなくても、翌週にリベンジの機会（2回目）を設けてあります。多くの児童に合格してほしいためです。

もともとドリルとは「反復練習」という意味です。検定に向けてドリル学習を繰り返すことは、「家庭学習の充実」へも繋がると考えています。家庭学習で何をどう勉強してよいかわからないという場合は、ドリル学習に取り組みさせてください。基礎基本がしっかりと身につくことは、全ての学習のベースとなります。9月は、1学期の復習問題で検定を実施します。

9月5日（水） 国語検定 **9月7日（金） 算数検定**

夏休みの最後、検定に向けての復習をしっかりとお願いします。家庭のご協力、よろしくお祈りします。



読書好きな子がたくさんいます。

学年	児童数	枚数	授与人数	授与人数割合%
1年	20	25	13	65.0
2年	13	36	13	100.0
3年	27	29	16	59.3
4年	23	31	16	69.6
5年	20	30	16	80.0
6年	21	58	20	95.2
全	124	209	94	75.8

古城小では、読書活動の推進の一つとして「読書1000ページで読書がんばり賞」を贈っています。読書には①語彙力と表現力を高める、②脳が活性化する、③博識になる、④心を豊かにする等、様々なメリットがあるとされています。また、平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究からは、「親の読書」と子どもの学力の関係について、絵本の読み聞かせに限らず、子どもの読書習慣や、親からの読書の働きかけが学力に強い影響力を持っていることが判明しています。そして、もう1つ、国語でも算数でも、親が本をよく読んでいる家庭の子ほど、全国学力テストの正答率が高いことが発表されています。この秋は、「親子の読書」

の時間を設けてみてはいかがでしょうか。

上の表は、一学期の読書がんばり賞の授与数をまとめたものです。スーパー読書がんばり賞（読書がんばり賞10枚）をもらったのは、2年生 米本蒼空君一人です。2年生は、全員が1枚以上の賞を獲得しています。圧倒的に、読書がんばり賞の獲得枚数が多いのは、6年生です。読書が生活の一部になっているお子さんもいます。

2学期もこの賞をもらいに、校長室を訪れる古城っ子が増えてくれることを期待しています。